

科目名	成人看護学Ⅱ	開講年次	2年前期	
		講義時間(単位)	30時間(1)	
講師名	宮崎雄一 堂領秀一 亀澤秀一 水谷仁司			
授業目標	成人期の特徴・発達段階を踏まえ、各健康レベルにある対象の特徴、障害の状態(脳神経、運動器、内分泌、血液、腎泌尿器)に応じた看護について理解する。			
使用テキスト	専門① 成人看護学[7] 脳・神経 医学書院 専門④成人看護学[10] 運動器 医学書院 専門⑧ 成人看護学[4]血液・造血器 医学書院 専門⑩成人看護学[6]内分泌・代謝 医学書院			
回数	授業内容	授業形態	担当講師	
1～3	疾患をもつ患者の経過と看護 (くも膜下出血、脳梗塞、脳腫瘍、筋ジストロフィー、多発性硬化症、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、髄膜炎) 治療・処置を受ける患者の看護 (術前・術後、薬物療法、リハビリテーション)	講義	宮崎雄一	
4～6	疾患をもつ患者の経過・看護 (大腿骨骨幹部・大腿骨転子部骨折、関節リウマチ、椎間板ヘルニア、脊髄損傷) 援助のためのおもな知識と技術 (身体機能の評価、日常生活動作の評価、運動器リハビリ) 症状に対する看護(疼痛、循環、神経障害) 検査・診断を受ける患者の看護(画像検査) 保存療法を受ける患者の看護(ギプス・副子固定、牽引療法) 手術を受ける患者の看護(術前・術後)	講義	堂領秀一	
7～9	疾患をもつ患者の経過と看護 主要症状を有する患者の看護(貧血、出血傾向、易感染状態) 検査を受ける患者の看護(骨髄穿刺・生検) 造血器腫瘍患者の看護 (薬物・放射線療法、造血幹細胞移植、白血病、悪性リンパ腫)	講義	亀澤秀一	
10～12	疾患をもつ患者の経過と看護 内分泌疾患患者の看護(下垂体、甲状腺、副腎) 代謝疾患患者の看護(糖尿病、脂質異常症、尿酸代謝異常)	講義	亀澤秀一	
13～15	疾患を持つ患者の経過と看護(慢性腎不全、前立腺がん) 症状に対する看護(浮腫、高血圧、下部尿路症状、尿の性状) 検査を受ける患者の看護(尿検査、膀胱鏡、画像検査、生検) 内科的治療を受ける患者の看護 (腎症、ネフローゼ症候群、腎硬化症、炎症性疾患、腎不全、透析) 泌尿器科的治療を受ける患者の看護 (膀胱・前立腺・腎臓の手術、腎移植)	講義	水谷仁司	
評価方法	レポート 終了試験(100点:亀澤先生) 終了試験(100点:宮崎先生40点・堂領先生30点・水谷先生30点)			
備考				